

愛知医科大学病院眼科を受診している患者さんへ

薬剤部では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

|           |   |
|-----------|---|
| 研究課題名     | 白内障手術におけるセファゾリン（CEZ）投与の必要性の検討   |
| 研究機関名     | 愛知医科大学病院  |
| 研究機関の長    | 病院長 藤原祥裕  |
| 担当科等      | 薬剤部   |
| 研究責任者     | 部長 大西 正文  |
| 研究の意義・目的  | 当院の白内障手術時にはCEZがクリニカルパスに含まれていたが、改定後は削除された。クリニカルパス変更後の術後感染の発生状況について調査を行う。   |
| 対象となる患者さん | 2017年4月10日から2017年7月13日までに白内障手術（術式：PEA+IOL）を施行した患者さん(202名)   |
| 研究の方法     | 調査期間中に白内障手術が施行された患者さんの術後感染の発生状況を調査します。さらに、CEZ投与群および非投与群に分けて、術前および術後の体温変化を調査します。また、臨床情報などの収集はカルテを利用させていただきます。  |
| 研究期間      | 倫理審査承認日 ~ 2020年3月31日  |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されませんが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。<br>情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。また、保有する個人情報の開示や、利用目的の開示をご希望の場合も、同様に下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| その他       |   |
| 問い合わせ先    | 愛知医科大学<br>薬剤部<br>担当者：薬剤師 後藤裕美子<br>電話 0561-62-3311（内線 34030）   |